

# ISO 13301 : 2002

## Sensory analysis – Methodology – General guidance for measuring odour, flavour and taste detection thresholds by a three-alternative forced-choice (3-AFC) procedure

### 官能試験—方法—三肢強制選択法(3-AFC)手順による香り、風味及び味覚検知の閾値測定のための一般手引

#### 1. 規格の概要

以下の内容に関する指針を規定している。

- ・強制3択(3-AFC)手順<sup>※</sup>により、臭気・風味・味覚に対する反応を引き起こす化学的刺激の検知についてのデータを得ること
- ・閾値とその誤差範囲、その他の化学的刺激の検知に関する統計量等を推定するためのデータ処理

※3つのサンプル(1つが評価者にとってなじみ深い特定の刺激を含み、他の2つが比較対照)が提示された状況で特定サンプルを識別するテスト

#### 2. 発行状況等

年月	検討状況
2002年9月	初版発行
2015年4月	改訂承認
2017年5月	改訂：委員会原案(CD)承認
2017年11月	改訂：国際規格案(DIS)承認
2018年1月～3月	改訂：最終国際規格案(FDIS)投票

注：改訂版及び／又は追補の発行までの段階

(1) 新業務項目提案(NP)<sup>※</sup>→ (2) 作業原案(WD)<sup>※</sup>→ (3) 委員会原案(CD)<sup>※</sup>  
→ (4) 国際規格案(DIS)→ (5) 最終国際規格案(FDIS)<sup>※</sup>→ 発行

※(1)、(2)、(3)及び(5)は省略可。

#### 3. 規格の構成(仮訳)

まえがき

序文

1 適用範囲

2 引用規格

- 3 用語と定義
- 4 原則
  - 4.1 試験手順
  - 4.2 データ加工
- 5 試験手順
  - 5.1 サンプルの準備
  - 5.2 刺激物の濃度の選定
  - 5.3 サンプルの掲示
  - 5.4 評価者の研修
  - 5.5 評価者の選定
  - 5.6 実験計画
- 6 データ加工
  - 6.1 数学的及び統計的モデル
  - 6.2 データの予備検査
  - 6.3 データを論理的モデルに当てはめて誤差を推定するための最尤境界
  - 6.4 試験結果の解釈
  - 6.5 0.5 以外の P<sub>s</sub>
  - 6.6 最良推定閾値 (BET:Best Estimate Threshold)
  - 6.7 試験結果の掲示
- 附属書 A (参考) 所定の精度の達成のために必要な推定評価者数
- 附属書 B (参考) 例示
- 参考文献